

いわて I T 産業成長戦略の概要

いわて県民計画（2019～2028）との関連

北上川バレープロジェクト

I T 産業、学術機関、産業支援機関等が集積する県央広域振興圏とものづくり産業が集積する県南広域振興圏双方の強みの掛け合わせによる北上川流域全体の高度化・高付加価値化、生活環境の充実
※ その他あらゆるプロジェクト・政策分野の推進に寄与

これまでの I T 産業振興の取組

- **いわて I T 産業振興ビジョンの策定（H18）**
- **盛岡広域地域産業活性化協議会（H19～）**
組込みソフトと I T・システム産業の誘致、人材育成事業の実施
- **いわて組込みシステムコンソーシアムの設立（H20）**
・ 産学行政連携の推進、ETロボコン等（人材育成活動）の推進
・ **競争力強化戦略～岩手県の組込みシステム産業の取組への策定（H24）**
- **滝沢市 I P U イノベーションパークの整備（H21～）**
- **いわてものづくり・ソフトウェア融合ハブセンター（i-MOS）（H23～）**

I T 産業を取り巻く環境の変化

- 東京一極集中等による若者の県外流出
- 急速な技術革新の進展（Society5.0など）
- デジタルトランスフォーメーション（DX）など、あらゆる分野でデジタル化が加速

県内 I T 産業の現状と課題

① 取引・受発注

下請け型・人材派遣型企業が多く、売上高が低位（1人当たり年間売上高全国26位）。地場企業は首都圏企業との取引が多く、誘致企業は本社業務の開発が中心で県内取引が少ない。
→ **県内取引の促進、利益率の高い業務の受注、自社製品・サービスの開発が必要**

② 集積効果

県央広域を中心に一定の産業集積はあるものの、産学行政の連携や企業と学生との連携・交流が不十分。
→ **企業間・産学行政連携の強化、戦略的な誘致、連携・交流拠点の整備検討が必要**

③ 人材の県外流出

I T 産業集積が進む一方で、I T 人材の多くが県外に流出。県内企業に対する認知不足
→ **段階に応じた人材育成、県内 I T 企業の学生等への周知、企業の魅力度向上が必要**

④ 各産業のデジタル化の推進

ものづくりのみならず幅広い分野において、デジタル活用が急務であるが、現状、多くの企業が自社内での対応が困難。社内の I T 技術者や高い I T リテラシーを持った人材が不足
I T 産業においては、今後のビジネス拡大に向けた、新規事業を担う技術者が不足
→ **I T 産業と他産業との連携促進、高度 I T 人材の育成が必要**

目指す姿

いわての未来を支える、IwaTeの I T ～ I T が拓く、いわて新時代～

魅力ある多様な I T 企業が集積し、高度な I T 人材が活躍するとともに、I T が県内産業の高度化・高付加価値化を推進

【計画期間】2020年度～2028年度（9年間）

【目標値】I T 産業の年間売上高（総額）：34,199百万円（32位） → 85,000百万円（20位）

戦略1（課題①・④）

産学行政の連携強化による取引拡大・新製品開発の推進

取引拡大の推進

- ・ 商談会の開催や展示会への出展支援等による首都圏企業等との取引拡大の促進
- ・ 新分野への取組の促進
- ・ 県内 I T 企業間の協業・取引拡大の促進
- ・ 県内 I T 企業と県内ものづくり企業等の取引の促進

新たな製品・サービスの創出

- ・ 県内 I T 企業の新製品・サービス開発の促進
- ・ 地域課題の解決に向けたプロジェクト・実証実験等の創出

県内産業の高度化・高付加価値化の推進

- ・ 県内産業のデジタルトランスフォーメーションの推進
- ・ 県内ものづくり産業への第4次産業革命技術の導入促進

戦略2（課題②）

多様な I T 企業の集積を促進

I T 企業の戦略的な誘致

- ・ 産業の高度化や学生の県内就業の促進等地域に波及効果をもたらす企業の誘致
- ・ 県と市町村の連携による支援策の検討

集積・交流拠点の整備検討

- ・ 県内 I T 企業と大学生等の交流の強化
- ・ 多様な主体が連携・交流する I T 集積・交流拠点の整備検討

起業・創業の促進

- ・ 岩手イノベーションベースと連携した起業・創業の促進
- ・ 大学発ベンチャー企業等の創出支援

戦略3（課題③・④）

高度 I T 人材の育成・確保・定着に向けた取組の強化

各ステージに応じた I T 産業・企業への理解醸成・興味喚起の促進

- ・ 小中学生や保護者対象の I T 産業への理解醸成（プログラミング教室等）
- ・ 高校生・大学生等対象の I T 企業等と連携したコンテスト等の開催
- ・ 高等教育機関との連携による幅広い分野で活躍する I T 人材の育成
- ・ 大学生等対象の企業ガイダンスの開催や企業ガイドブック等の作成

I T 人材の県内定着及び U・I ターンの促進

- ・ 県内 I T 人材の確保・定着を促進するための奨学金返還支援
- ・ 関係機関と連携した県外 I T 人材の U・I ターン促進
- ・ 岩手イノベーションベースと連携した起業・創業の促進（再掲）

高度 I T 人材の育成

- ・ 高等教育機関との連携による幅広い分野で活躍する I T 人材の育成（再掲）
- ・ 県内 I T 企業向けの合同新入社員研修の実施
- ・ 県内 I T 企業に対する最新分野の研修の実施
- ・ I T 企業間や、I T 企業と他産業との交流機会の創出
- ・ 県内中小企業に対する経営者層も含めた I T リテラシーの向上に向けた啓発

【参考：令和元年度県内大学生（理工系・情報系）の就職状況】

大学・学部名	県内就職者 (県内就職率)	県外就職者 (県外就職率)	就職者計
岩手大学理工学部（システム創成工学科）	27 (24.1%)	85 (75.9%)	112
岩手県立大学ソフトウェア情報学部	31 (26.5%)	86 (73.5%)	117
2大学計	58 (25.3%)	171 (74.7%)	229

推進体制の構築

産学行政連携組織「いわて I T 産業コンソーシアム（仮称）」の設立による県内 I T 産業振興及び県内産業の DX 推進に向けた体制を構築